

「哺育・育成牛、移行期牛の管理」

～研究と農場を結びつける～

全酪連は、2015年1～2月にバージニア工科大学酪農学部教授 ボブ・ジェームス博士を招聘し、全国6会場にて、全酪連酪農セミナー（平成26年度）を開催いたします。講師のジェームス博士は、生産現場における普及活動に長く貢献されている人物です。今回の酪農セミナーでは、特に移行期牛および新生子牛管理の現場で役立つ内容をより現実的な視点で紹介する予定にしています。また、セミナーとは別に、研究者・指導者の皆様のために最先端情報を整理するワークショップも開催します。是非ご参加ください。

講師略歴



ボブ・ジェームス博士

(バージニア工科大学 酪農学部 教授)

- 1971年 デラウェア大学を卒業
- 1974年 バージニア工科大学・酪農普及員として酪農現場の普及活動
- 1975年 バージニア工科大学にて修士号取得
- 1978年 同 大学にて博士号取得
- 1980年 同 大学 酪農学部助教授
- 1984年 同 准教授
- 1998年 同 教授

【研究分野】

- 育成牛の飼料摂取量回帰式の開発
- 発育中の子牛と育成牛の栄養要求量の確定
- 販売不可能乳(廃棄乳)の管理と給与に関する研究
- 自動哺乳機による哺育子牛の管理
- 哺育子牛の栄養とその免疫機能・乳腺発達
- 牛群全体の栄養素の納純改善

日時と場所

1月30日 金	熊本セミナー	火の国ハイツ
2月 2日 日	岡山セミナー	岡山国際交流センター
2月 4日 水	名古屋セミナー	名鉄ニューグランドホテル
2月 6日 金	仙台セミナー	フォレスト仙台
2月 9日 日	帯広セミナー	北海道ホテル
2月10日 火	全酪連ワークショップ(帯広)	北海道ホテル
2月12日 木	東京セミナー	目黒雅叙園

各会場とも開会は10:00、閉会16:00となります

参加費

1名様 ¥5,000 (テキスト・昼食代含む)

対象

酪農家・組合役職員・公的指導機関、あるいは研究者・獣医師・コンサルタントの方々

酪農セミナー2015

第1章 乾乳牛管理が乳牛の健康・成績・哺育子牛に対して及ぼす影響

- 乾乳管理の基本原則
- カウコンフォート／栄養指針／乾物摂取量／飼料給与管理／群分け
- 乾乳牛管理が子牛に及ぼす影響
- バージニア工科大学の移行期牛研究結果

第2章 新生子牛の管理～新生子牛のチャレンジ～免疫・環境温度・体組成

- 分娩環境
- 初乳管理～なぜ初乳が重要なのか
- 子牛の環境／行動、衛生
- 初乳のパスチャライズ
- 新鮮な初乳、凍結初乳、発酵初乳、初乳製品の違い

第3章 哺育(離乳前)子牛の管理

- 成長に見合う栄養要求の考え方
- 期待可能な子牛の発育～成熟体格との関係～
- 成長とは何か? 異なる給与プログラムごとの体組成
- 発育の可能性を考慮した給与
- 販売不可能乳(廃棄乳)の問題点と給与管理
- 2回哺乳 vs. 3回哺乳、自動哺乳機の管理

第4章 離乳後から受精まで～成功裏に離乳する

- 育指標のゴール～成熟体格に対する% vs. 体高と体重
- 3か月齢から受精までの給与プログラム

ワークショップ2015

- 預託育成のプロとは?
- 酪農家の自家育成 vs. 預託農家による育成
- 育成コストの高い時期を認識する
- 米国における自動哺乳プログラムの事例紹介
- 北海道の生産現場で抱える課題／ディスカッション